

# 東北における基本方針に定める 移動等円滑化の目標達成状況

---

# 基本方針に定める移動等円滑化の目標達成状況の概要(2018年度末)

バリアフリー法に基づく基本方針に定められた整備目標達成に向け、移動等円滑化を推進。

		2018年度末の 目標達成状況	2020年度末までの目標(令和2年度末)
鉄軌道	鉄軌道駅※1	90%	○3,000人以上を原則100% ○この場合、地域の要請及び支援の下、鉄軌道駅の構造等の制約条件を踏まえ可能な限りの整備を行う ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態をふまえて可能な限りバリアフリー化
	ホームドア・ 可動式ホーム柵	84路線 783駅	車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進 ※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う
	鉄軌道車両	73%	約70%
バス	バスターミナル※1	94%	○3,000人以上を原則100% ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化
	乗合バス 車両	ノンステップバス 59%	約70%(対象から適用除外認定車両(高速バス等)を除外)
	リフト付きバス等 5%	約25%(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)	
	貸切バス車両	1,013台	約2,100台
船舶	旅客船ターミナル※1	100%	○3,000人以上を原則100% ○離島との間の航路等に利用する公共旅客船ターミナルについて地域の実情を踏まえて順次バリアフリー化 ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化
	旅客船(旅客不定期航路事業の用に供する船舶を含む。)	46%	○約50% ○5,000人以上のターミナルに就航する船舶は原則100% ○その他、利用実態等を踏まえて可能な限りバリアフリー化
航空	航空旅客ターミナル※1	87%	○3,000人以上を原則100% ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化
	航空機	98%	原則100%
タクシー	福祉タクシー車両	28,602台	約44,000台
	うちUDタクシー	12,533台	
道路	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路	89%	原則100%
都市公園	園路及び広場	51%※2	約60%
	駐車場	48%※2	約60%
	便所	35%※2	約45%
路外駐車場	特定路外駐車場	65%	約70%
建築物	2,000㎡以上の特別特定建築物のストック	60%	約60%
信号機等	主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等	99%	原則100%

※1 旅客施設は段差解消済みの施設の比率。1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上のものが対象。

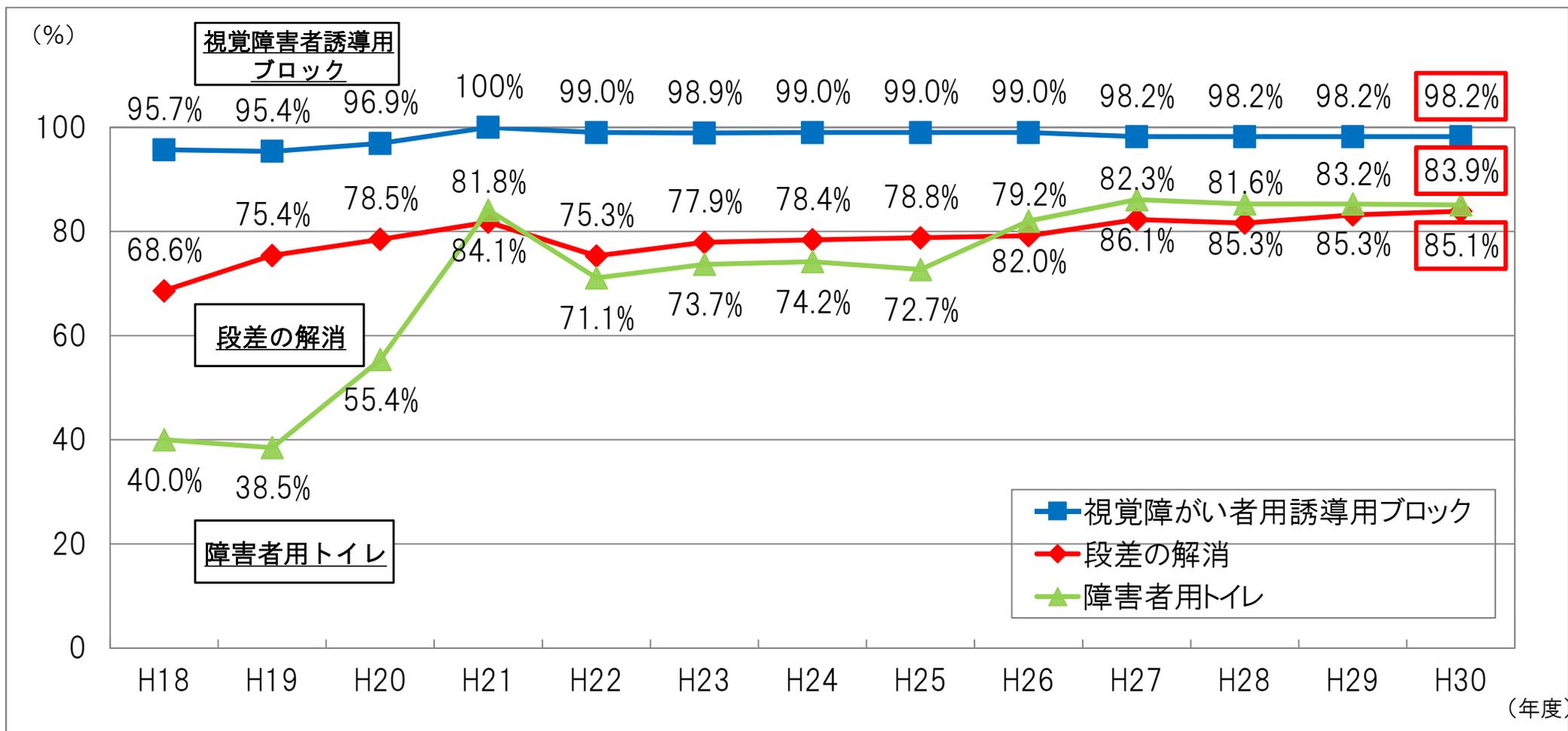
※2 2018年度末の数値は集計中であるため2017年度末の数値

# 旅客施設

# 鉄軌道駅のバリアフリー化の推移(東北)

## ◆鉄軌道駅のバリアフリー化の目標

一日あたりの平均的な利用者数が3千人以上である鉄道駅については、令和2年度までに、原則として全てについて、移動等円滑化を実施する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

※H18~22年度までは旧基本方針に基づき1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設、23年度以降は改訂後の基本方針(平成23年4月1日施行)に基づき、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の整備状況を示している。

※「障害者用トイレ」については、便所を設置している旅客施設における整備状況を示している。

# 鉄軌道駅のバリアフリー状況(東北県別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上である鉄軌道駅のバリアフリー化は、約9割について実施済。
- ・県別にみると、宮城県の進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

(目標値:約100%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
鉄道駅数	4	13	71	4	4	16	112	3,588
(うちトイレ設置駅数)	4	11	65	3	3	15	101	3,343
段差の解消(駅数)	3	7	67	3	3	11	94	3,243
割合	75.0%	53.8%	94.4%	75.0%	75.0%	68.8%	83.9%	90.4%
視覚障害者 誘導用ブロック(駅数)	4	13	71	4	4	14	110	3,399
割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	98.2%	94.7%
障害者トイレの設置(駅数)	4	7	61	2	2	10	86	2,901
割合	100.0%	63.6%	93.8%	66.7%	66.7%	66.7%	85.1%	86.8%

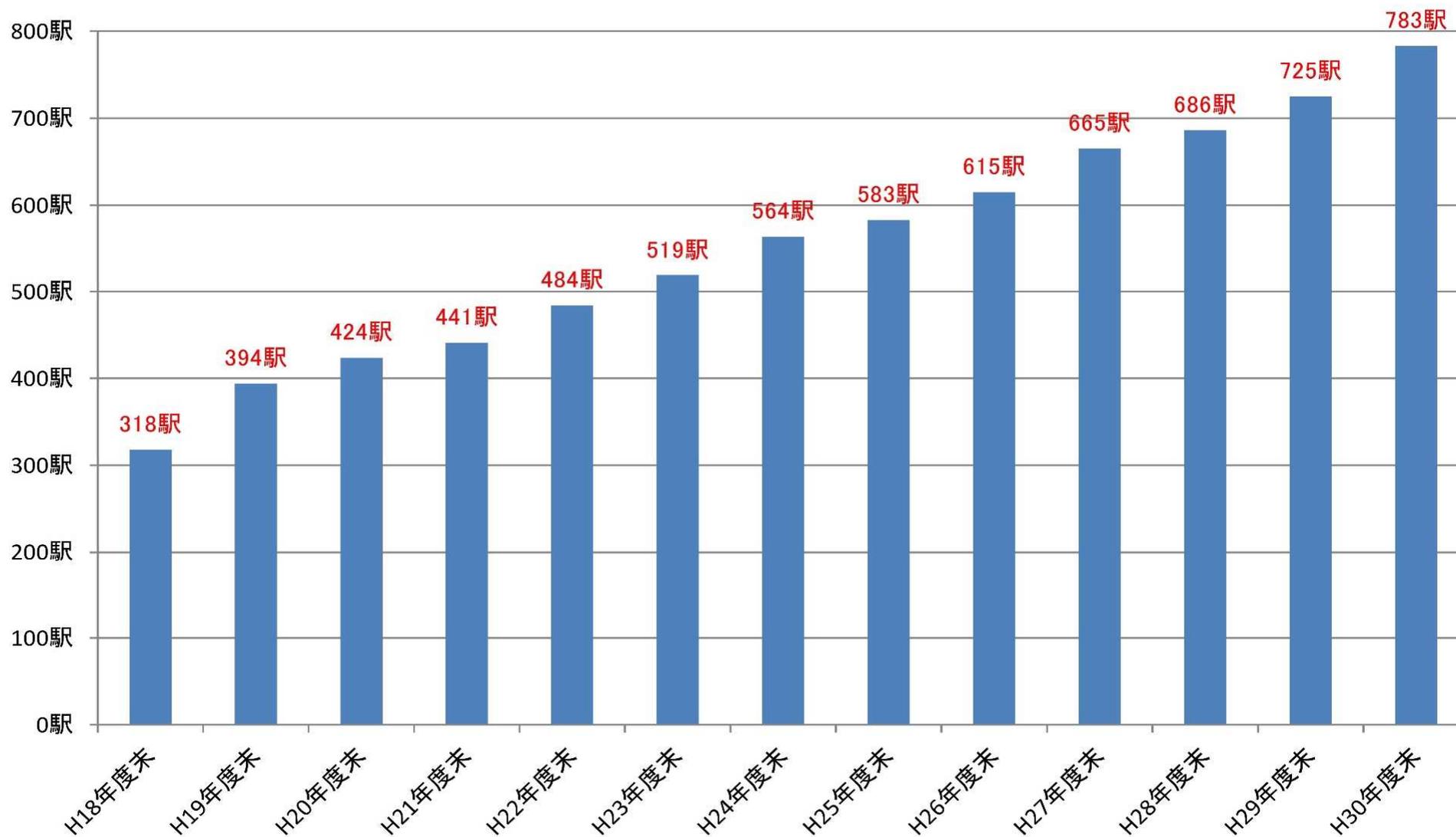
※バリアフリー化率が全国平均より高い地域を赤塗り、低い地域を青塗りとする(以下、同じ)

# ホームドアの設置状況(全国)

## ◆ホームドアの整備目標

車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進する。

※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う



# バスターミナルのバリアフリー状況(地域別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上であるバスターミナルのバリアフリー化は、段差解消や誘導用ブロックは約9割、障害者トイレについては約8割において実施済。
- ・地域別に見ると、東北、北陸信越、中部、近畿、中国、沖縄の進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

(目標値:約100%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	全国合計
バスターミナル数	13	1	2	5	5	5	1	—	14	1	47
(うちトイレ設置施設数)	11	1	1	3	5	3	1	—	14	1	40
段差の解消(施設数)	11	1	2	5	5	5	1	—	13	1	44
割合	84.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	92.9%	100.0%	93.6%
視覚障害者誘導用ブロック(施設数)	11	1	2	5	5	5	1	—	14	1	45
割合	84.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	100.0%	100.0%	95.7%
障害者トイレの設置(施設数)	4	1	1	1	5	3	1	—	13	1	30
割合	36.4%	100.0%	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	100.0%	—	92.9%	100.0%	75.0%

# 旅客船ターミナルのバリアフリー状況(地域別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上である旅客船ターミナルのバリアフリー化は、段差解消については既に目標を達成、誘導用ブロックは約8割、障害者トイレについては約9割において実施済。
- ・地域別に見ると、北陸信越、四国、九州、沖縄の進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

(目標値:100%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	全国合計
旅客船ターミナル数	—	—	2	2	—	—	4	1	4	1	14
(うちトイレ設置施設数)	—	—	2	2	—	—	2	1	4	1	12
段差の解消(施設数)	—	—	2	2	—	—	4	1	4	1	14
割合	—	—	100.0%	100.0%	—	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	—	—	2	1	—	—	2	1	4	1	11
割合	—	—	100.0%	50.0%	—	—	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78.6%
障害者トイレの設置 (施設数)	—	—	2	1	—	—	2	1	4	1	11
割合	—	—	100.0%	50.0%	—	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%

# 航空旅客ターミナルのバリアフリー状況(東北県別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上である航空旅客ターミナルのバリアフリー化は、誘導用ブロックについては既に目標を達成、段差解消や障害者トイレについては約7割において実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

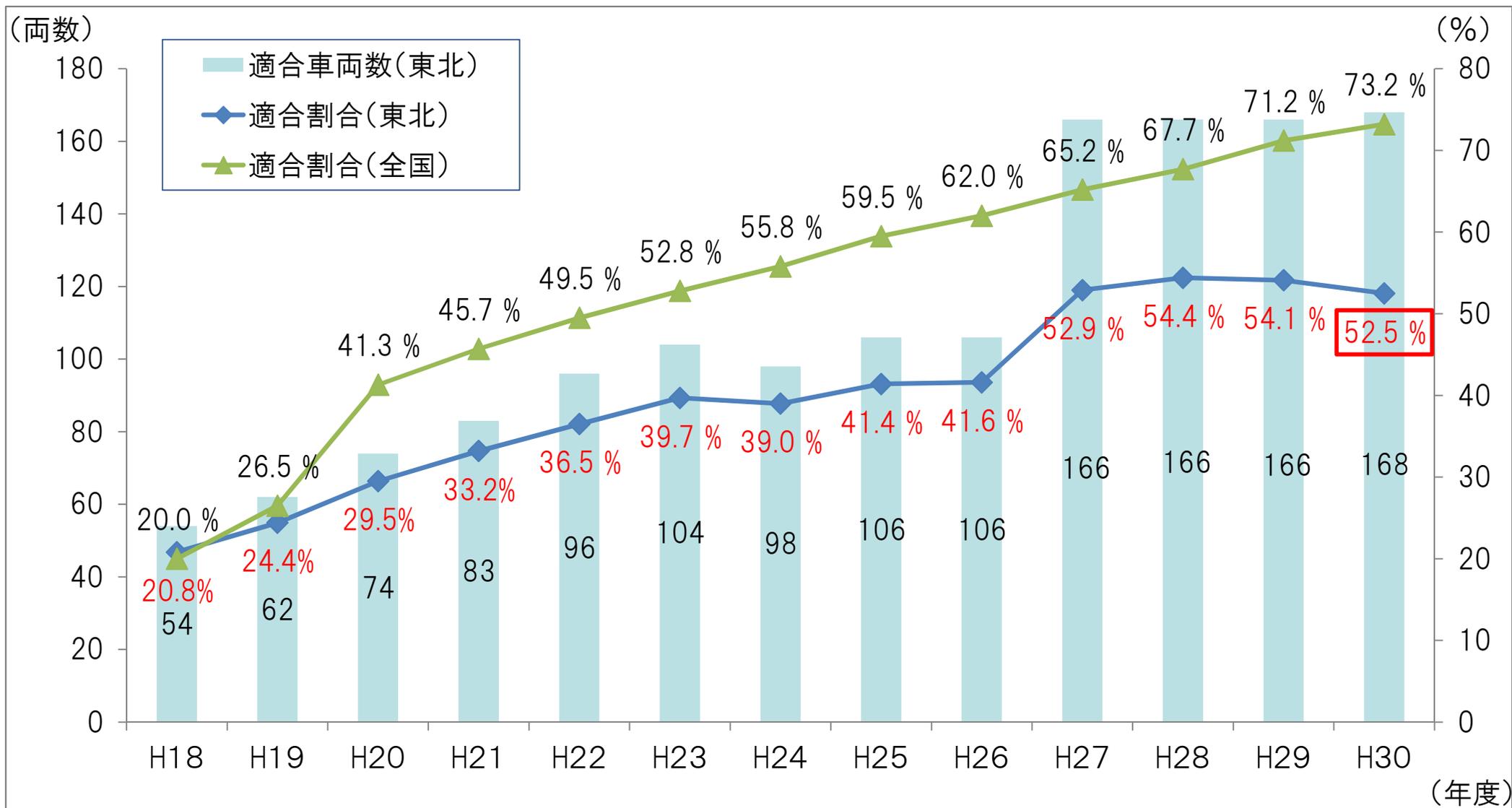
(目標値:約100%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
航空旅客ターミナル数	1	—	1	1	—	—	3	37
(うちトイレ設置施設数)	1	—	1	1	—	—	3	37
段差の解消(施設数)	1	—	1	0	—	—	2	32
割合	100.0%	—	100.0%	0.0%	—	—	66.7%	86.5%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	1	—	1	1	—	—	3	36
割合	100.0%	—	100.0%	100.0%	—	—	100.0%	97.3%
障害者トイレの設置 (施設数)	0	—	1	1	—	—	2	34
割合	0.0%	—	100.0%	100.0%	—	—	66.7%	91.9%

# 車両

# 鉄軌道車両のバリアフリー化の推移(東北)

## ◆鉄軌道車両のバリアフリー化の目標

全国で総車両数約52,000両のうち約70パーセントに当たる約36,400両について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

# 鉄軌道車両のバリアフリー状況(東北県別)

- ・鉄軌道車両のバリアフリー化は、5割強について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

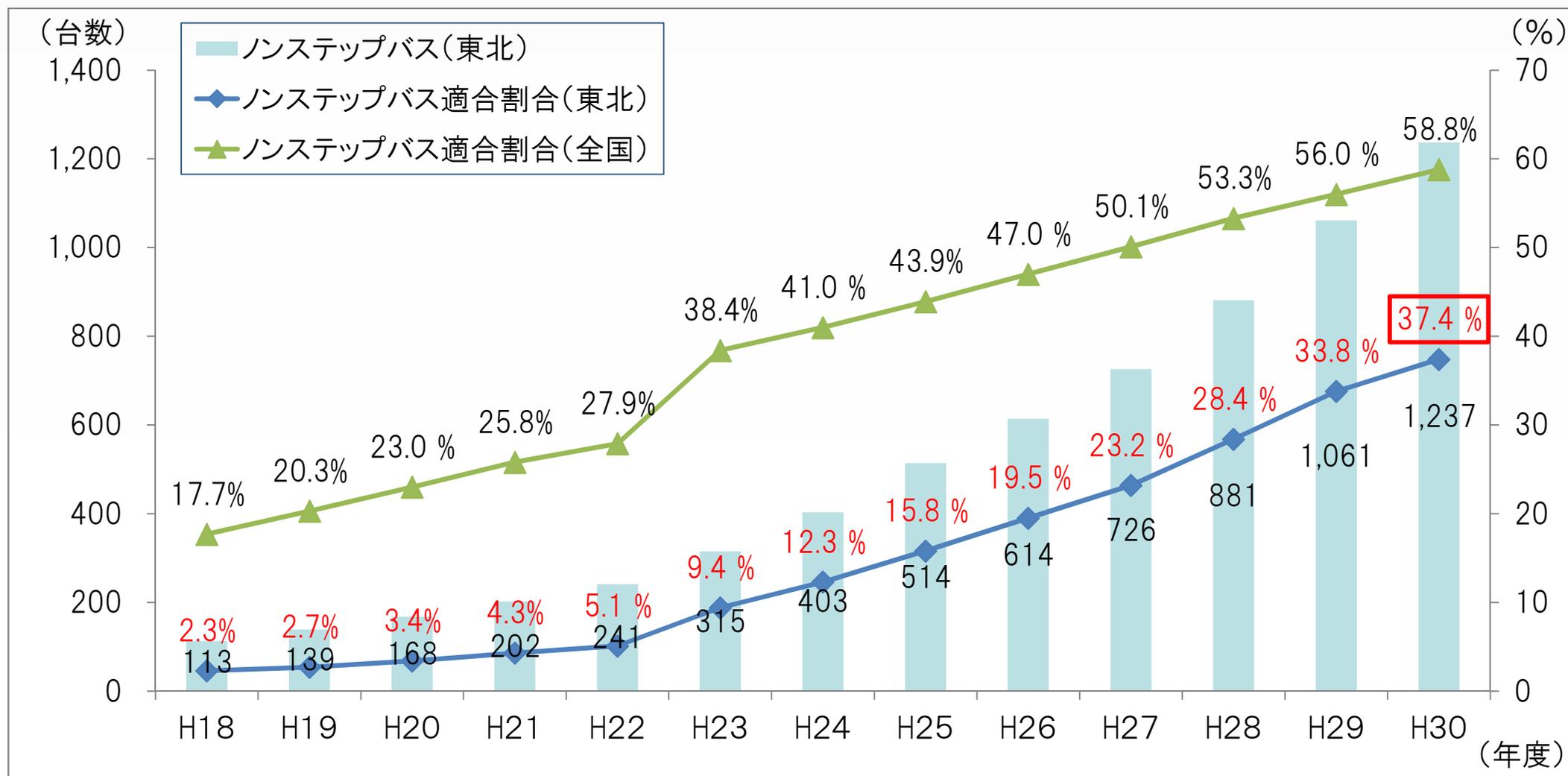
(平成30年度末時点)

(目標値:約70%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数	57	40	150	17	6	50	320	52,673
基準適合車両	4	0	150	0	0	14	168	38,564
割合	7.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	28.0%	52.5%	73.2%

# ノンステップバスの導入の推移(東北)

## ◆ノンステップバスの導入の目標

全国で総車両数約60,000台からバス車両の構造及び設備に関する移動等円滑化基準の適用除外認定車両約10,000台を除いた50,000台のうち、**約70%に当たる約35,000台**について、令和2年度までにノンステップバスとする。



- ・ノンステップバスは、4割弱の導入状況。
- ・県別に見ると、山形県の進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

(目標値:約70%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数 ※適用除外認定車両を除く	487	627	1,033	289	159	711	3,306	46,872
基準適合車両	112	164	541	63	102	255	1,237	27,574
割合	23.0%	26.2%	52.4%	21.8%	64.2%	35.9%	37.4%	58.8%

- ・リフト付きバス等は、適用除外認定車両のうち1割にも満たない導入状況。

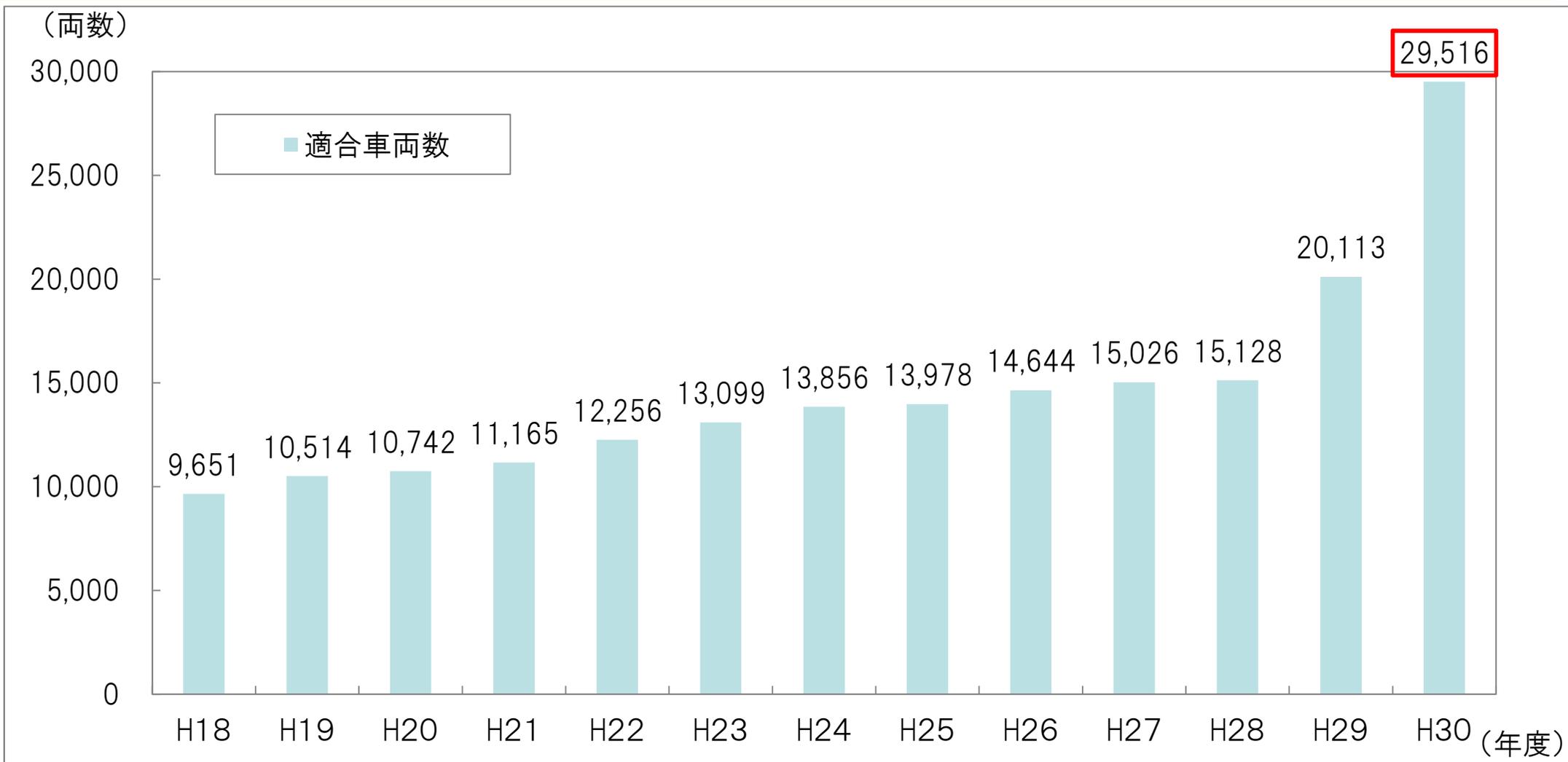
(平成30年度末時点)

(目標値:約25%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	全国合計
総数 ※適用除外認定車両	955	1,596	963	3,227	878	1,828	1,004	559	2,143	377	13,530
基準適合車両	29	67	22	184	90	141	56	3	96	8	696
割合	3.0%	4.2%	2.3%	5.7%	10.3%	7.7%	5.6%	0.5%	4.5%	2.1%	5.1%

# 福祉タクシーの導入の推移(全国)

## ◆福祉タクシーの導入の目標

2020年度までに、**約44,000台**(※)の福祉タクシー(ユニバーサルデザインタクシー(流し営業にも活用されることを想定し、身体障害者のほか、高齢者や妊産婦、子供連れの人等、様々な人が利用できる構造となっている福祉タクシー車両をいう。)を含む。)を導入する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

- ・福祉タクシーについては、ユニバーサルデザインタクシー(JPN TAXI)の販売増加等により、全国合計で前年度より約8,000台増加した。
- ・県別に見ると、福島県における導入数が多い。

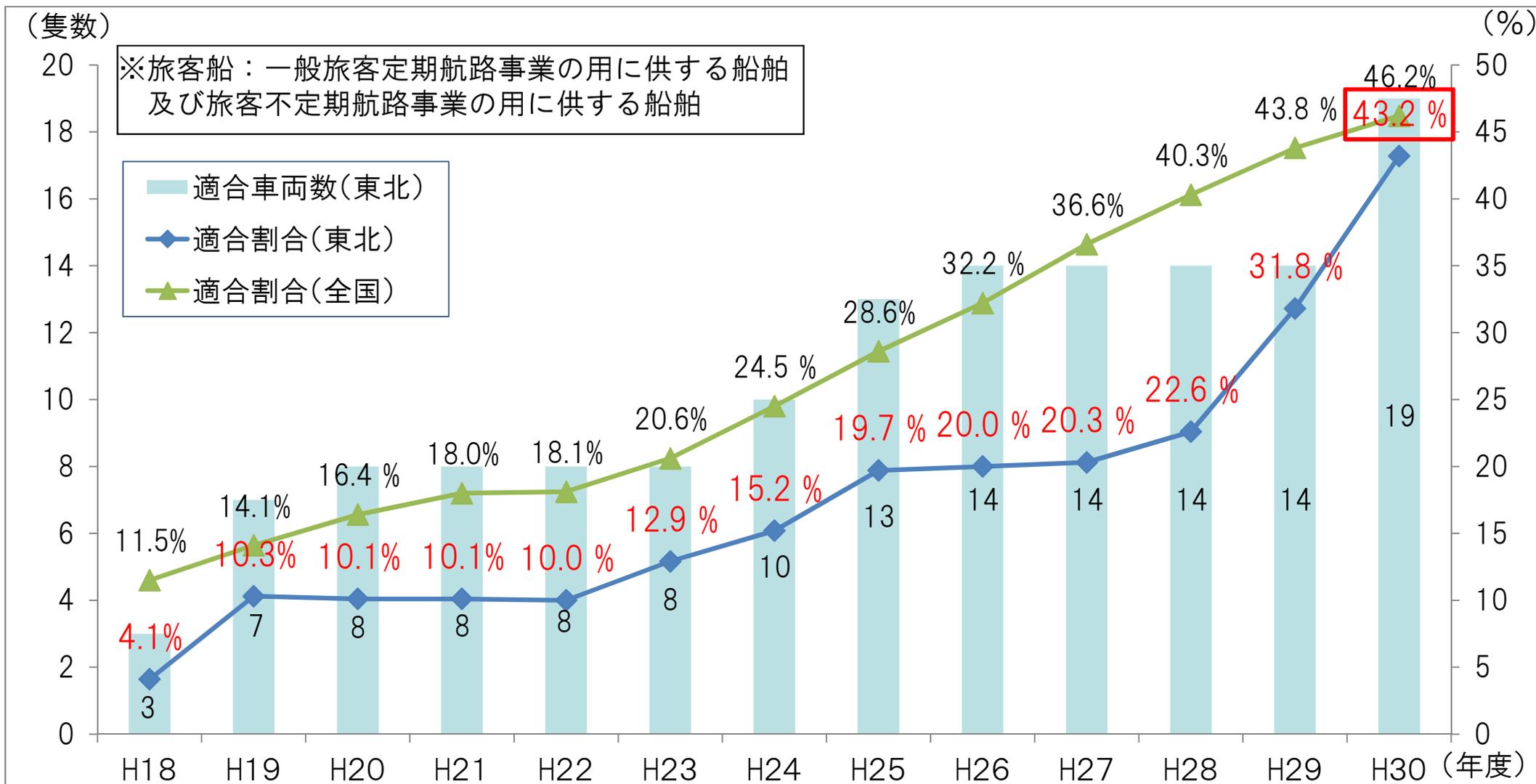
(平成30年度末時点)

(目標値:約44,000台/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
基準適合車両	311	203	325	179	231	388	1,637	29,516
うちUDタクシー	66	24	59	32	46	88	315	12,533

# 旅客船のバリアフリー化の推移(東北)

## ◆旅客船のバリアフリー化の目標①

一般旅客定期航路事業及び旅客不定期航路事業の用に供する総隻数約700隻のうち約50パーセントに当たる**350隻**について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

# 旅客船のバリアフリー状況(東北県別)

- ・旅客船のバリアフリー化は、4割強について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

## ①旅客船

(平成30年度末時点)

(目標値:約50%/2020年度末)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数	12	1	21	2	6	2	44	666
基準適合車両	4	0	14	0	1	0	19	308
総数に対する割合	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	43.2%	46.2%

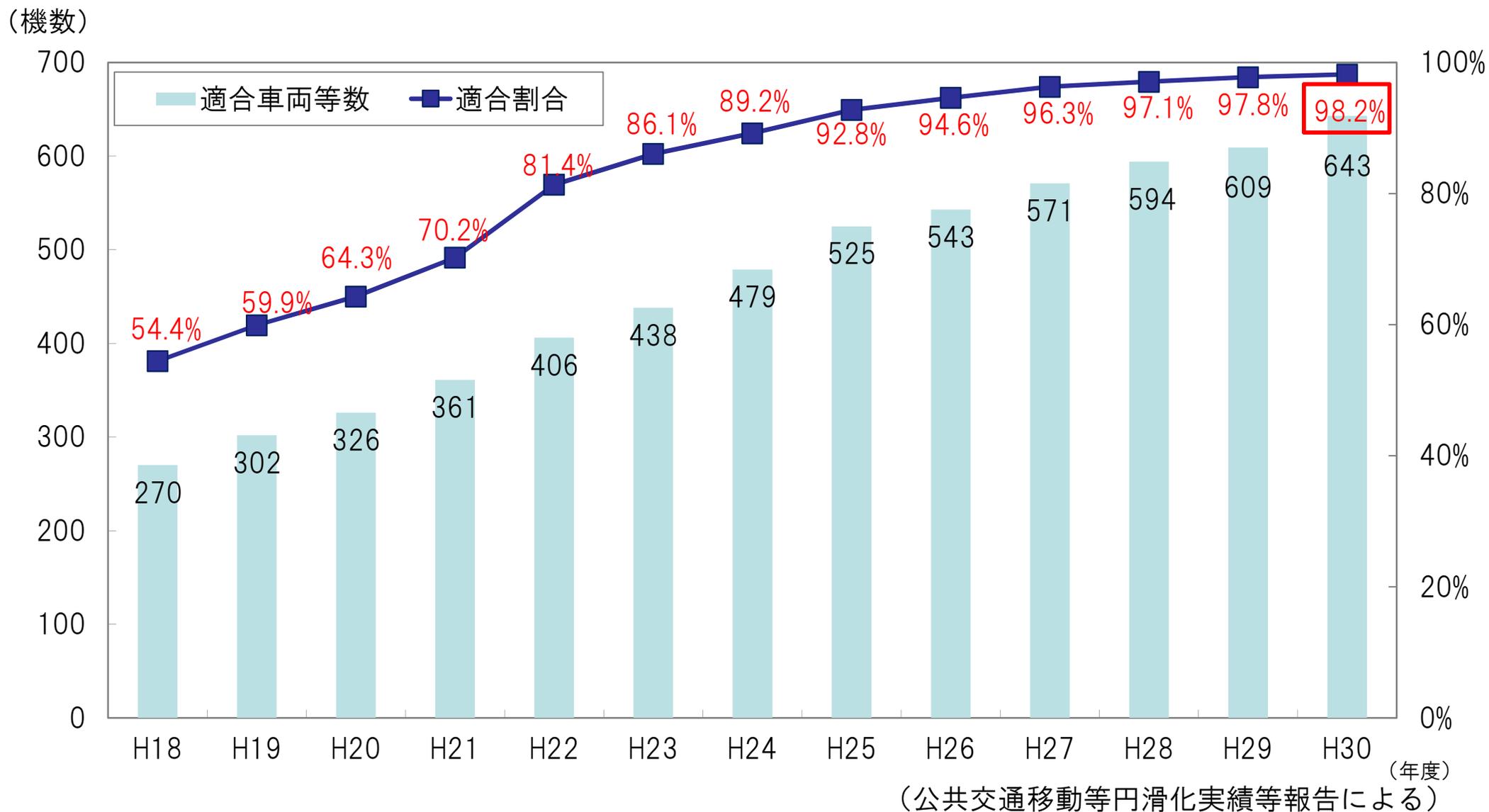
## ②一日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上である旅客船ターミナルに就航する旅客船

(目標値:原則100%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国合計
総数	—	—	—	—	—	—	15	4	5	19	43
基準適合車両	—	—	—	—	—	—	4	0	3	11	18
割合	—	—	—	—	—	—	26.7%	0.0%	60.0%	57.9%	41.9%

# 航空機のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆航空機のバリアフリー化の目標

総機数約620機について、令和2年度までに、原則として全て移動等円滑化を実施する。

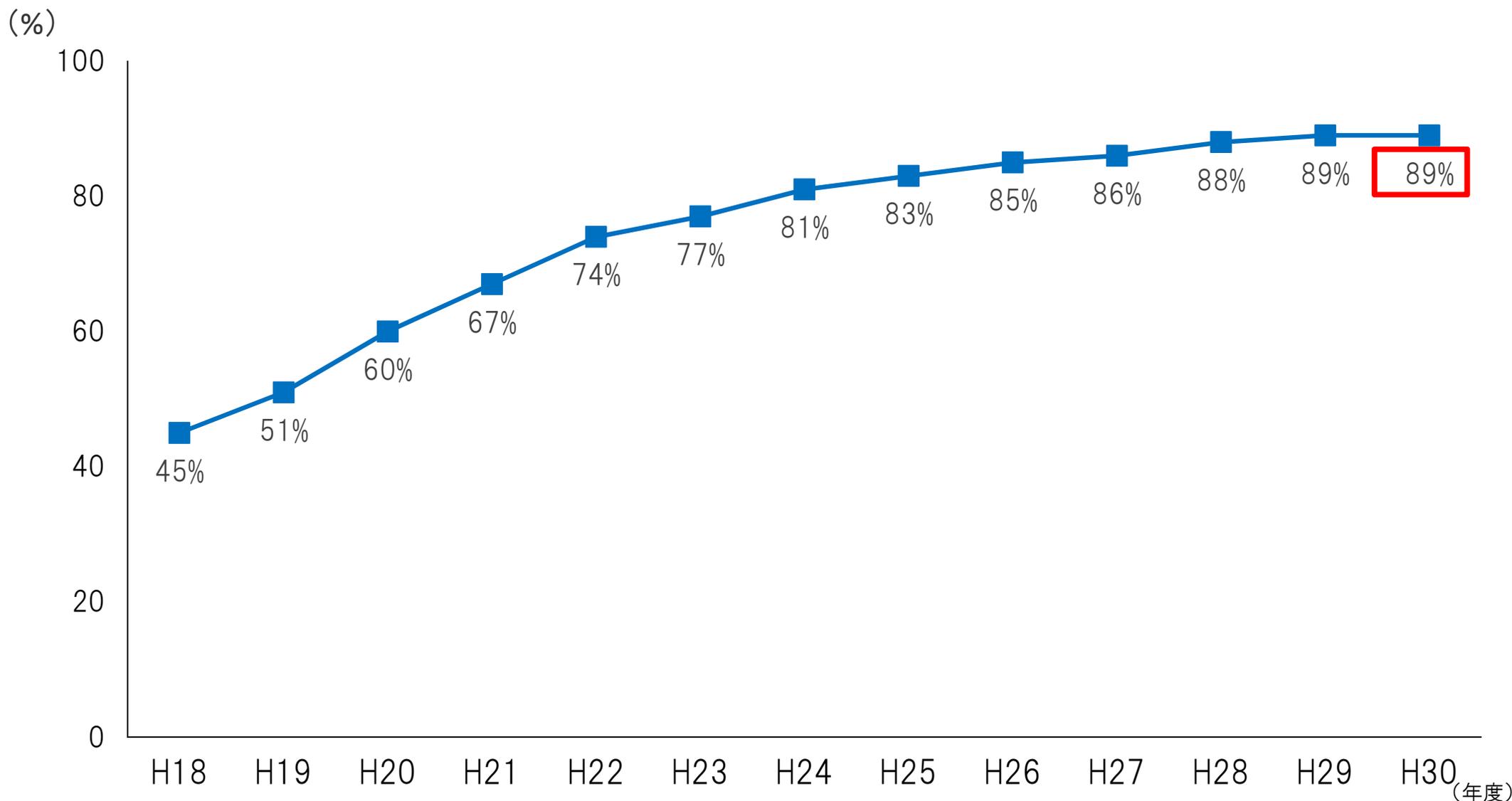


# 道路

## 道路のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆道路のバリアフリー化の目標

原則として重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する全ての道路について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 道路のバリアフリー状況(地域別)

- ・重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する全ての道路のバリアフリー化は、約9割について実施済。
- ・地域別に見ると、北海道、東北、北陸、中部、中国における進捗率が比較的高い。

(平成30年度末時点)

(目標値:100%)	北海道	東北	関東	北陸	中部
道路延長 (km)	184.5	82.1	422.8	64.0	157.8
整備延長 (km)	181.5	78.4	373.8	61.3	149.3
割合	98.4%	95.4%	88.4%	95.8%	94.6%

(目標値:100%)	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
道路延長 (km)	489.9	76.2	32.4	188.7	4.3	1702.7
整備延長 (km)	412.2	71.6	24.6	167.3	3.9	1523.8
割合	84.1%	94.0%	75.8%	88.7%	90.7%	89%

# 都市公園

# 都市公園のバリアフリー状況(東北県別)

- ・都市公園のバリアフリー化は、園路・広場については約5割、駐車場、便所については約4割の都市公園において実施済。
- ・県別に見ると、園路・広場については青森県、福島県、駐車場については岩手県、便所については青森県、宮城県、秋田県、福島県が進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

(目標値:約60%)		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
園路及び広場	総数	850	1,192	1,621	546	839	1,082	6,130	96,931
	基準適合の数	521	482	776	212	467	629	3,087	54,974
	割合	61.3%	40.4%	47.9%	38.8%	55.7%	58.1%	50.4%	56.7%

(目標値:約60%)		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
駐車場	総数	106	108	175	103	144	181	817	9,071
	基準適合の数	38	71	66	38	55	84	352	4,348
	割合	35.8%	65.7%	37.7%	36.9%	38.2%	46.4%	43.1%	47.9%

(目標値:約45%)		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
便所	総数	293	393	554	227	544	477	2,488	35,681
	基準適合の数	109	140	224	98	157	215	943	12,799
	割合	37.2%	35.6%	40.4%	43.2%	28.9%	45.1%	37.9%	35.9%

# 路外駐車場

# 路外駐車場のバリアフリー状況(東北県別)

- ・路外駐車場のバリアフリー化は、6割弱の特定路外駐車場について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県、山形県、福島県における進捗率が高い。

(平成30年度末時点)

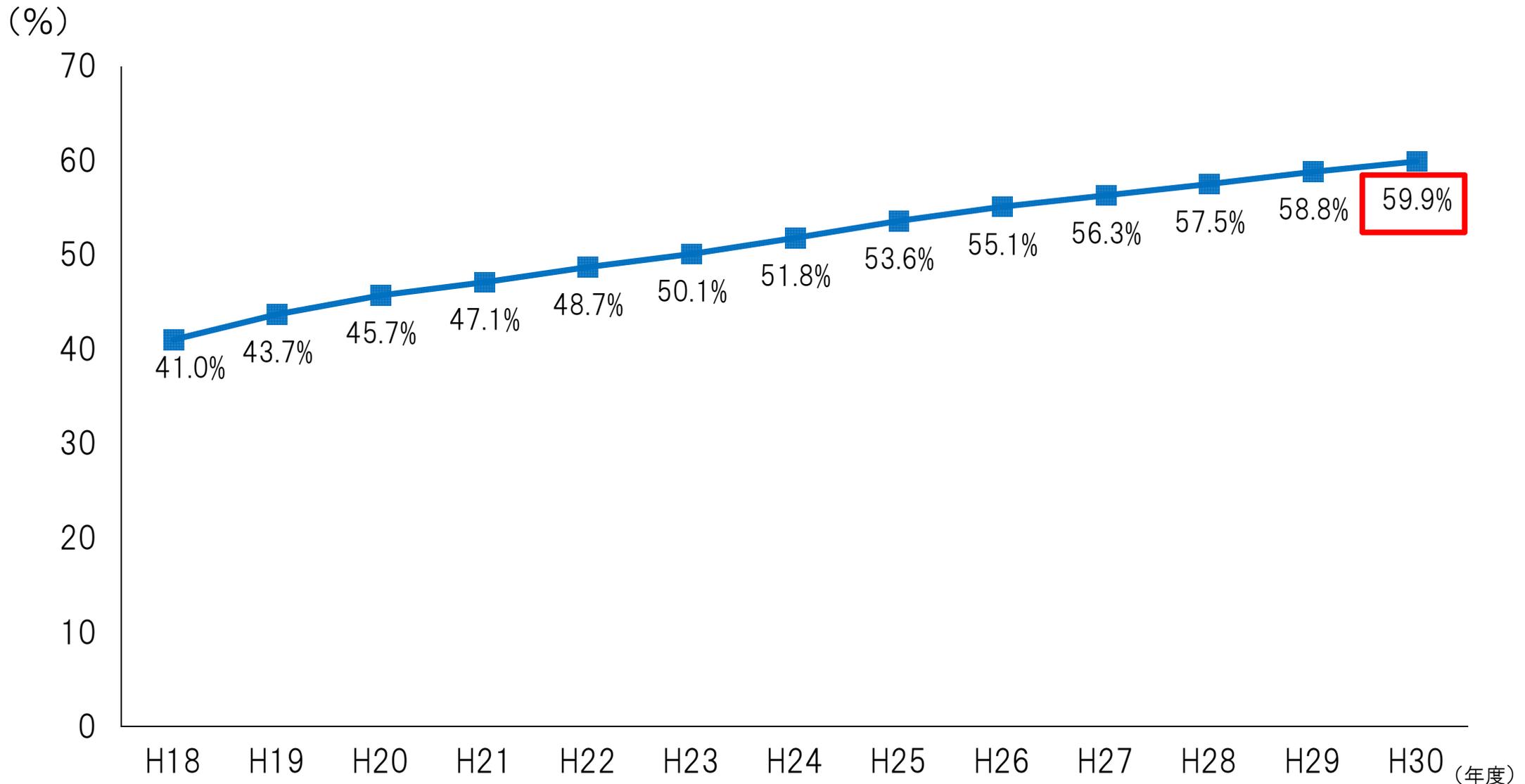
(目標値:約70%)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	全国合計
総数[箇所]	27	47	37	30	23	15	179	3,896
基準適合の数[箇所]	10	29	27	15	15	10	106	2,523
割合	37.0%	61.7%	73.0%	50.0%	65.2%	66.7%	59.2%	64.8%

# 建築物

## 建築物のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆建築物のバリアフリー化の目標

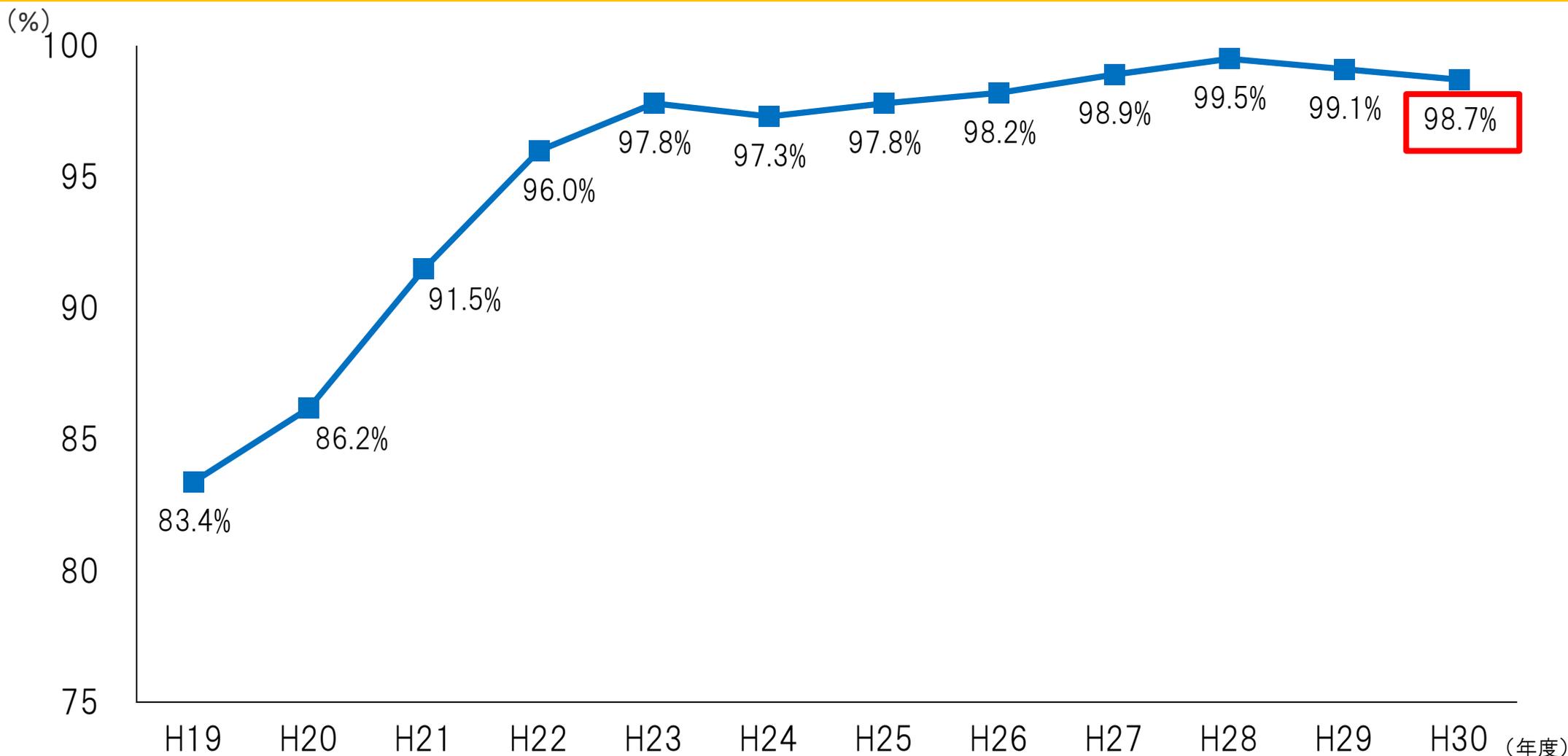
2000㎡以上の特別特定建築物の総ストックの約60パーセントについて、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 信号機等

## ◆信号機等のバリアフリー化の目標

重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等については、令和2年度までに、原則として全ての当該道路において、音響信号機、高齢者等感応信号機等の信号機の設置、歩行者用道路であることを表示する道路標識の設置、横断歩道であることを表示する道路標示の設置等の移動等円滑化を実施する。



・重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等のバリアフリー化は、全体的には着実に進んでいる。

(平成30年度末時点)

(目標値：100%)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北平均
	100.0%	100.0%	93.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.2%

北海道	東北	東京都	関東	中部
99.1%	97.2%	96.5%	98.8%	98.2%

近畿	中国	四国	九州	全国平均
99.9%	100.0%	100.0%	99.8%	98.7%